

平成 28 年度業務実績に関する評価結果を踏まえた業務運営の改善等への反映状況

中期計画項目	平成 28 年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた平成 29 年度以降の改善の状況
<p>Ⅱ 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>6 質保証連携</p> <p>(1) 大学等と連携した高等教育の質保証に係る取組</p>	<p>大学ポートレートについては新規訪問者数が増加傾向にある一方で、アクセス数全体は減少傾向にあるので、その要因分析とともに、アクセス数の拡大、利便性の更なる向上のために、見直し改善を行うことが期待される。</p>	<p>大学ポートレートについては、平成 29 年 3 月からモバイル対応を行うとともに、平成 29 年 11 月から、選択した最大 10 件の学部等に関する「費用及び経済支援」「入試」「学生寮」などの事項について、一覧で表示・比較できるよう一覧表示機能を導入することによって、平成 29 年度における全体のアクセス数は前年度増（H28：503,735 件、H29：640,642 件）となった。これらの取組により閲覧者の利便性の向上を図った結果、新規訪問者数のみならず全体のアクセス数の増加につながったものと分析される。</p> <p>また、閲覧者の求める情報をさらに充実させ、掲載情報の利用価値を増すため、平成 29 年度の大学ポートレート運営会議において、大学ポートレート公表項目に各学部等で学べる学問分野や取得できる資格についての項目を追加することを決定し、現在、新システムの構築を行っているところである。</p> <p>さらに、新システムの構築に当たっては、大学ポートレートデータの認証評価への利用に向け、認証評価機関連絡協議会と連携し、認証評価共通基礎データ様式を利用できるよう検討を行うとともに、各大学の教職員が I R（インスティテューショナル・リサーチ）の場において大学ポートレートの収集する大学情報を有効活用できるよう大学関係者の意見聴取を行っている。大学情報の有効活用については、平成 30 年度大学ポートレートステークホルダー・ボードの議題の一つに挙げられており、委員から示された意見は今後大学ポートレート運営会議に報告し、大学ポートレートの運営方針に反映していく予定である。</p> <p>なお、平成 30 年 10 月に、国公立大学の教育情報を英語で掲載する大学ポートレート（国際発信版）の公表を開始した。国際発信版では、日本の大学への留学を希望する海外の学生に向け、大学が公表すべき事項について掲載しており、海外の学生や機関等に幅広く活用されることが期待されるものとする。</p>